

令和 2 年 度 決 算 公 告

札幌市中央区大通西5丁目1番地2
常口セーフティ少額短期保険株式会社
代表取締役 並木 譲平

令和2年度(令和3年3月31日現在)貸借対照表

常口セーフティ少額短期保険株式会社		(単位:千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金及び預貯金	432,804	保険契約準備金	79,200
現 金	8	支払備金	4,847
預 貯 金	432,796	責任準備金	74,353
有形固定資産	4,113	代理店借	14,847
建物付属設備	3,972	再保険借	84,563
其他有形固定資産	140		
無形固定資産	28	その他の負債	91,603
ソフトウェア	-	未払金	75,633
その他	28	未払費用	1,306
		預り金	379
代理店貸	11	前受収益	14,276
再保険貸	117,963	仮受金	8
共同保険貸	92,309		
		負債の部合計	270,215
その他の資産	56,731	(純 資 産 の 部)	
未収金	14,365	資 本 金	50,000
前払費用	31,197	利益剰余金	459,709
預託金	2,725	(其他利益剰余金)	(459,709)
仮払金	40	繰越利益剰余金	459,709
未収法人税等	7,952		
その他	450		
		自己株式	△39,220
繰延税金資産	25,742	(株主資本合計)	470,489
供託金	11,000	純資産の部合計	470,489
資産の部合計	740,704	負債・純資産の部合計	740,704

(注記)

1. 有形固定資産の減価償却は定率法(ただし、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)、無形固定資産の減価償却は定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。
2. 消費税等の会計処理方法は税込み方式を採用しております。
3. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、契約金額が300万円未満のため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
4. 有形固定資産の減価償却額累計額は 6,489千円です。
5. 繰延税金資産の総額は 25,742千円で、その主な内訳は普通責任準備金として7,183千円及び税務上の繰越欠損金によるものであります。

6. 支払備金の内訳は、次のとおりであります。

支払備金(出再支払備金控除前)	96,955千円
同上にかかる出再支払備金	92,108千円
差引	4,847千円

7. 責任準備金の内訳は、次のとおりであります。

普通責任準備金	61,071千円
異常危険準備金	13,281千円
合計	74,353千円

8. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンスリースにより使用しております。

9. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

代理店貸等にかかる信用リスクについては適切に管理しリスク軽減を図っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金および預金	432,804	432,804	———
代理店貸	11	11	———
再保険貸	117,963	117,963	———
未収金	14,365	14,365	———
代理店借	(14,847)	(14,847)	———
再保険借	(84,563)	(84,563)	———

①負債に計上されるものについては、()で示しております。

②これらの金融商品はいずれも短期で決済されるため、時価は簿価にほぼ等しいことから当該帳簿価格によっております。

10. 1株あたりの純資産額は 1,809,574円41銭です。

算定上の基礎である純資産の部の合計額及び普通株式に係る当期末の純資産額は いずれも 470,489千円、1株当り純資産額の算定に用いた当期末の普通株式の数は260株であります。

11. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

令和2年度

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

損益計算書

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	1,761,502
保険料等収入	1,749,341
保険料	879,457
再保険収入	869,883
回収再保険金	273,401
再保険手数料	552,211
再保険返戻金	44,271
責任準備金等戻入額	10,960
責任準備金戻入額	10,960
支払備金戻入額	-
その他経常収益	1,200
経常費用	1,707,120
保険金等支払金	1,169,876
保険金	287,790
解約返戻金	46,601
再保険料	835,484
責任準備金等繰入額	2,952
責任準備金繰入額	-
支払備金繰入額	2,952
事業費	534,291
営業費及び一般管理費	528,778
税金	4,934
減価償却費	578
その他経常費用	-
経常利益	54,382
特別損失	99,610
退職慰労金	99,610
税引前当期純損失	45,227
法人税及び住民税	180
法人税等調整額	△11,997
当期純損失	33,410

(注記)

1. 正味収入保険料の内訳は以下のとおりであります。

保険料	879,457千円
再保険返戻金	44,271千円
小計(イ)	923,728千円
再保険料	835,484千円
解約返戻金等	46,601千円
小計(ロ)	882,085千円
差引(イーロ)	41,642千円

2. 正味支払保険金の内訳は以下のとおりであります。

保険金等	287,790千円
回収再保険金	273,401千円
差引	14,389千円

3. 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は、以下のとおりであります。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前)	59,043千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	56,091千円
差引	2,952千円

4. 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)の内訳は、以下のとおりであります。

当年度普通責任準備金(イ)	61,071千円
前年度普通責任準備金(ロ)	73,154千円
異常危険準備金繰入額(ハ)	1,122千円
差引 (イ)－(ロ)＋(ハ)	△10,960千円

5. 1株あたりの当期純利益は、△128,501円30銭です。

1株あたりの当期純利益の算出には、期中平均発行済株式数(1,000株)から期中平均自己株式数(740株)を控除した260株で算出しています。

6. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

事業費明細書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	
役 員 報 酬	24,397	
給 料 手 当	14,892	
賞 与	2,007	
法 定 福 利 費	5,296	
福 利 厚 生 費	75	
代 理 店 手 数 料	344,666	
経 営 管 理 料	5,771	
紹 介 店 手 数 料	800	
旅 費 交 通 費	1,905	
業 務 委 託 料	81,659	
通 信 費	462	
郵 送 費	5,461	
交 際 費	503	
支 払 手 数 料	9,934	
リ ー ス 料	40	
支 払 保 険 料	202	
修 繕 費	11,839	
水 道 光 熱 費	533	
賃 借 料	247	
備 品 消 耗 品 費	2,378	
外 注 費	828	
税 金	4,934	
新 聞 図 書 費	66	
諸 会 費	833	
支 払 報 酬	5,772	
地 代 家 賃	7,223	
減 価 償 却 費	578	
寄 付 金	98	
会 議 費	5	
雑 費	874	
合 計		534,291

株主資本等変動計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		その他 利益剰余金	利益剰余金合計			
		繰越利益剰余金				
当期首残高	50,000	493,119	493,119	△ 39,220	503,899	503,899
当期変動額						
当期純損失(△)		△ 33,410	△ 33,410		△ 33,410	△ 33,410
当期変動額合計		△ 33,410	△ 33,410		△ 33,410	△ 33,410
当期末残高	50,000	459,709	459,709	△ 39,220	470,489	470,489

(注記)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類 普通株式 1,000株

当事業年度の増減はありません。

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

自己株式 普通株式 740株

3. 当事業年度に行った剰余金の配当に関する事項

該当ありません。

4. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。